

第3次行政改革の 取り組み

行政改革

問い合わせ先
阿久比町行政改革推進本部事務局
企画財政課 ☎(48)1111(内204)

平成十七年度から、自律していくための行政改革の実行方法として「経費の圧縮」「行政のスリム化」「住民の受益者負担」「定員適正化計画」を柱に掲げ、平成二十一年度までの五力年を主な計画の実施期間とした。第三次行政改革に取り組みでできました。この期間の取り組みと影響額は次のとおりです。

引き続き厳しい財政状況ですが、時代のニーズに則した新しい事業も求められています。今後も、行政改革の方針を引継ぎ、常に経費の節減に努め、限られた予算・人員のなか効率的・効果的な行政運営に努めます。

大綱・実行計画

項目	5年間(平成17年度～21年度)に取り組んだ内容等		5年間影響額計
規制緩和の推進	簡易文書の押印廃止	18年1月から42件の窓口申請書などの押印を省略	0円
	公印の押印廃止	17年12月から簡易文書の押印廃止	0円
補助金等の整理合理化	単独補助金の見直し	17年11月、公募委員2人を含む「阿久比町補助金見直し委員会」答申 18年度から4年間で、17年度対比20%削減	3,856万2,000円
機能的に展開できる組織・機構の見直し	部・課・係の統廃合	17年度 水道部と建設部の統合による1部減、 総務課・企画課・財政課の統合再編、都市計画課・土木課の統合、水道課・下水道課の統合による3課減、 企画係・電算係の統合、農地係・農政係の統合、工事係・維持係の統合による3係減 20年度 土地改良事業推進のため農地係を設置	1億6,002万5,000円
職員配置の見直し	スポーツ村の管理体制	20年度から嘱託職員4人体制による管理運営	1,148万3,000円
	図書館及び給食センターの管理体制	17年度 図書館長補佐の嘱託化 18年度 図書館長の嘱託化 19年度 図書館係長の兼務(社会教育課)、給食センター所長の嘱託化 20年度 図書館長に職員を配置	1億551万6,000円
定員適正化計画の策定	定員適正化計画の策定・推進	一般職削減目標、16年度職員数202人を21年度186人職員数の推移 17年度196人、18年度192人、19年度192人、20年度186人(目標達成)、21年度185人	1億3,257万2,000円
給与の適正化	課長補佐職の管理職移行	17年度実施済	210万2,000円
行政の情報化等の推進	庁内LANの活用	19年度 情報化の推進と事務の省力化・効率化のためグループウェアの導入と財務会計システムとの統合(パソコン19台・プリンタ17台の削減)	167万8,000円
	計画的なパソコン導入	個人パソコン排除のため計画的に導入、19年度個人パソコン全廃 21年度現在 情報系パソコン148台 基幹系パソコン34台	2,138万6,000円
行政サービスの向上	公共施設利用申し込みの簡素化	あいち共同利用型施設予約システムの導入 18年10月 屋外体育施設(スポーツ村の野球場・陸上競技場、白沢グランド・テニスコートなど)の予約開始 19年11月 屋内体育施設(丸山公園武道場、ふれあいの森体育室)の予約開始 20年6月 文化施設(公民館、エスペランス丸山)の予約開始	984万4,000円
住民への情報提供	公表・広聴事業の多角化	行政改革・行政評価・職員給・財政状況などさまざまな情報を広報・ホームページなどにより適宜公表 より迅速な情報提供のため20年10月 LED電光掲示板を設置、緊急情報にも対応 インターネットなどを利用した町民からの意見・要望収集	847万5,000円